

# おおおち

第136号

2014年7月22日発行

TEL 0193-42-2111

FAX 0193-42-3855

発行 大槌町議会

## 議会報



まけるな、がんばれ～！  
(おさなご幼稚園 ミニ運動会)

審議された議案  
議会の動き

②～③

一般質問の内容

④～⑧

審議された議案  
行政視察報告

⑨

組合議会報告  
幼稚園児との交流

⑩

第2回定例会

一般質問に5議員が登壇

平成26年第2回定例会は、6月6日から11日までの6日間の会期で開催されました。今期定例会には、「元氣・活いき大榎21プラン（第2次）」策定に係る報告、大榎町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求め、大榎都市計画事業震災復興土地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例、工事請負契約の締結、一般会計補正予算、安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出など報告8件、議案7件、発議案1件が提案されました。また、一般質問には5議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をたどりました。

◆議案◆

◎大榎町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求め、藤本俊明氏を再び選任することに同意を求めます。  
（全員賛成・原案可決）



藤本委員

◎大榎町副町長の定数を定める条例の一部を改正する条例：副町長の定数を3人から2人とするものです。  
（全員賛成・原案可決）

◎大榎町一般職の職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例：旅費のうち車賃について、1キロメートルあたりの単価「35円」を「35円の範囲内で規則で定める額」に改めるものです。  
（全員賛成・原案可決）

◎特別職の職員の旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例：車賃について、1キロメートルあたりの単価「35円」を「35円の範囲内で規則で定める額」に改めるものです。  
（全員賛成・原案可決）

◎大榎都市計画事業震災復興土地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例：震災復興土地区画整理事業における「大榎都市計画事業赤浜地区震災復興土地区画整理事業」における施行地区を拡大するものです。  
（全員賛成・原案可決）

業」における施行地区を拡大するものです。  
（全員賛成・原案可決）

◎工事請負契約の締結：大ケ口地区幹線管路（第6工区）新設工事及び大ケ口地区幹線管路（第6工区その2）新設工事について、指名競争入札により松村建設株式会社と工事請負契約を締結す

るものです。  
なお、本工事は、大ケ口地区の災害公営住宅を公共下水道へ接続させ、生活環境の向上を図るため、復興交付金事業（効果促進事業）にて実施するものです。また、周辺の住宅についても、公共下水道へ接続できる環境を整備するものです。  
（全員賛成・原案可決）



大ケ口地区幹線管路（第6工区）新設工事予定地

議会の動き

10日	東日本大震災復興対策特別委員会
14日	議会編集特別委員会
23日	議会運営委員会
30日	政務調査会役員会 東日本大震災復興対策特別委員会 第4回臨時会 政務調査会総会
（5月）	
7日	仙台市議会行政視察 岩手沿岸南部広域環境組合議員代表者会
9日	町村議会議員研修会（盛岡市）
19日	岩手沿岸南部広域環境組合議会臨時会
20日	東部町村議会議長会 定期総会（大榎町）
22日	大船渡・大榎・山田間三陸縦貫自動車道整備促進協議会 戦没者追悼式
25日	道路関係団体合同総会議長・副議長研修会（28日・東京都）
26日	議員全員協議会
27日	総務教民常任委員会協議会
29日	大阪府富田林市議会義援金贈呈

# 審議された議案

◎平成26年度大槌町一般会計補正予算(第2号)

を定めること：復興整備事業第1期工事、沿岸営農拠点センター整備工事、製氷貯水施設整備工事、がけ地近接等危険住宅移転事業補助金などを補正するものです。歳入歳出予算に19億4805万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を523億4461万2千円とするものです。  
(全員賛成・原案可決)

## ◆報告—\*

◎「元氣・活いき大槌21プラン(第2次)」策定に係る報告：平成26年度から平成35年度までの10年間を計画期間とし、町民一人ひとりが取り組むべき健康課題を明らかにするとともに、町民の健康増進の総合的な推進を図るための基本的な事項を示し、社会全体が町民の健康を支援し、健康寿命の延伸を図ることを目的とし策定されたもの

です。

◎繰越明許費繰越計算書：平成25年度大槌町一般会計予算については、土壌汚染対策工事負担金、原木しいたけ緊急支援対策事業、生きた証プロジェクト事業、防災集団移転促進事業(仮称)おおつち学園小中一貫教育校整備事業等、合計37事業の68億5238万8千円を平成26年度に繰り越したことを報告したものです。

平成25年度大槌町簡易水道事業特別会計予算については、金沢簡易水道拡張事業の4579万7千円を平成26年度に繰り越したことを報告したものです。

平成25年度大槌町下水道事業特別会計予算については、社会資本整備総合交付金事業、沢山・大ケ口地区下水道事業、下水道枝線等整備事業の3事業、合計1億1555万4千円を平成26年度に繰り越したことを報告

したものです。

平成25年度大槌町水道事業会計予算については、国道45号送配水管布設工事の4845万円を平成26年度に繰り越したことを報告したものです。

## ◆請願—\*

《採択となった請願》

◎安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める請願書  
(岩手県医療労働組合連合会 執行委員長 中野るみ子)

《継続審査となった請願》

◎ふたたび被爆者をつくらないために「現行法」(原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律)改正を求める請願：広島・長崎の被爆者は、原爆による熱線、爆風、放射線

で傷つけられた。今日まで、いのち、からだ、こころ、くらしに被害を受けつづけている。しかし、現行法(平成5年制定)

は、原爆被害を償う法律、国民の命を守る法律にはなっていない。

そこで、日本国民が安全に、安心して生きていくるためにも、現行法を改正し、原爆被害に対して償いをするよう国に意見書を求める請願です。  
(岩手県原爆被害者団体協議会 会長 伊藤宣夫)

## ◆発議案—\*

◎安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出：東日本大震災では、「医療崩壊」「介護崩壊」の実情が改めて明らかになり、その中で医師、看護師、介護職員など医療・福祉労働者の人手不足が浮き彫りになった。

震災からの復興、地域医療再生のためにも医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、国民の負担を減らすことが求められていることから、医師・看護師・介護職員等

の増員を実現し、安全でゆきとどいた医療・看護・介護の拡充を図るための対策を講じるよう求めたものです。  
(全員賛成・原案可決)

### 定例会・臨時会 議員出欠表

議席番号	議員氏名	第2回定例会 (6/6～6/11)		第3～4回 臨時会	
		出席	欠席	出席	欠席
1	三浦 諭	3	0	2	0
2	芳賀 潤	3	0	2	0
3	東梅 守	3	0	2	0
5	阿部俊作	3	0	2	0
6	東梅康悦	3	0	2	0
7	小松則明	3	0	2	0
8	里舘裕子	3	0	2	0
9	金崎悟朗	3	0	2	0
10	後藤高明	3	0	2	0
11	岩崎松生	3	0	2	0
12	野崎重太	3	0	2	0
13	阿部義正	3	0	2	0
14	阿部六平	3	0	2	0

### 議会を傍聴しませんか

9月定例会は9月5日(金)開会予定です。

予定は変更される場合があります。詳しくはお問い合わせください。

26日	25日	23日	16日	9日	6日	3日	30日	29日
市・兵庫県神戸市)	政務調査会行政視察(27日・大府箕面)	議会運営委員会	議会編集特別委員会	議員全員協議会	小枕・仲松地区安全祈願祭	組協議会臨時会(宮古市)	岩手県沿岸的障害児施設	議会議事録編集委員会
							第2回定例会(11日)	議会運営委員会
							大槌町シルバー人材センター通常総会	生きた証プロジェクト実行委員会
								大槌商工会通常総会
								大槌町議会通常総会



小松 則明 議員

## 人口流出に対する今後の方向性は

### 人口問題対策本部を設置し議論していく

#### 人口流出阻止への 取り組みについて

【問】地域崩壊回避のため、人口流出阻止のダムとなる地方の拠点づくりや出生率アップ対策などが提言されているが、現実には自治体や政府といった行政の力だけでは難しい。若い人が住み、子供を産み、育てていくことができ

る環境づくりが唯一の解決方法だと思っているが、今の町はそのような環境ではない。今後の対策は。

【答】（碓川町長）

町の将来人口を明らかにし、大植町に住み続けていただくためには何が

必要なのかという視点から各事業を計画した。また、人口問題対策本部を設置したところであり、今後議論し実施していく。

【問】町内の企業が新規事業を起こす場合には、町としての補助的考えはあるのか。

【答】（碓川町長）

現在は無いが、今後考えて実行したいと考えている。

#### 消防団活動への町の 取り組みについて

【問】長野県危機管理部では、消防団員減少などに

よる消防力の低下が危惧されており、その対策のため、消防団活動に協力している事業所等の事業税の減税をするなど消防団員の確保に取り組んでいるが、町の消防団員確保への取り組み方針は。

【答】（平野総務部長）

長野県で運用されている事業税に対する優遇措置については、消防団員確保に有効な取り組みであると考える。本町としても、長野県と同様の税制的優遇措置が図られるよう県に要望していく。

#### 源水・大ケ口地区の 環境について

【問】個人住宅再建や災害公営住宅再建に伴い、急激に地域人口が増えている一方、商店やスーパーがないなど、地域の環境が住む人の需要に対応できていない現状がある。この問題に直面している源水・大ケ口地区に対しての今後の町の対応は。

【答】（大釜産業振興部長）

商店の立地に関しては土地の利用規制などの問題もあるが、相談があった場合には、土地の面積や商売の形態などをお聞きし相談に応じている。具体的な商業店舗などの起業については、今後も産業振興部で対応していく。

#### 住宅再建に係る 道路幅員について

【問】現在、町では防災集団移転事業や区画整理事業などの住宅再建に係る事業が進んでいる。その中で、津波で浸水した区域ではあるが、新たな防潮堤の建設により、防潮堤完成後は浸水しない安全な区域であると指定され、住宅再建がすぐにも可能となった地域がある。

しかし、当時との建築基準の違いから接道の道路幅が足りず、震災前に住んでいた土地に住宅を再建できない状態の場所があるが、そのような相談があった場合の町の対応は。

【答】（那須復興局長）

現在の建築基準法では、建て替えの際は道路の中心から2メートル下がった位置で建築し、道路幅を4メートル確保することとなる。

震災前に住んでいたところに住宅を再建したいという要望があれば、要望者において、道路幅を4メートル以上確保するための境界確定や分筆登記に必要な測量を行い、所有権移転登記ができる状態が道路用地を町へ寄附していただければ、町道認定する方向で事務を進めている。

# 障がい者就労施設は

## 定員 26 名で秋頃開所予定



東梅 康悦 議員

国土調査未実施地区  
での住宅再建について

【問】同事業が未実施の地域において、被災者の方が自己所有の土地に住宅再建する時、公図と現況に相違がある場合の町の対応は。

【答】（那須復興局長）

法務局の備えつけ公図は、境界の復元が可能な「法第14条地図」とは異なり精度も高くない。個人間で土地の境界を確定する方法として、土地所有者が法務局に対して筆界特定申請をして筆界を特定する「筆界特定制度」がある。現在までの国土調査の進捗率は43%

であり、未実施地区を解消するよう計画的に実施したい。

【問】筆界特定制度を利用する場合、役場の関与は。

【答】（那須復興局長）

技術的な支援はできないが、土地家屋士や法務局等への紹介などの手伝いはできる。

高校再編について

【問】少子化により子供の人数が年々減少する時、



大槌高等学校

町としての高校再編計画への対応は。

【答】（内城総合政策部長）

本年5月28日現在、大槌高校の学級数は全学年3学級である。今後の高等学校教育の在り方について本年8月から9月にかけて各自治体首長を交えたブロック別の懇談会が開催予定である。大槌高校は地域とのつながりも強く、本町にとって重要かつ必要不可欠である。県の委員会の議論を注視し、まちづくりにおける大槌高校の位置付けや町民の皆様の思いを踏まえ、

懇談会等において町の考え方を主張していく。

【問】住田町では、住田高校に町独自の支援をしている。当町ではできないか。

【答】（碓川町長）

住田町の取り組みは、定住対策のものと考える。町では子育て支援については、いろいろな方策を講じているが、人口減少が進む中で定住化の一環としての取り組みはしな

ければならない。

障がい者の就労について

【問】当町における障がい者の就労状況とA型就労事業所の今後の方向性は。

【答】（佐々木民生部長）

3月末の障がい者の人数は、身体障がい857名、知的障がい113名、精神障がい56名の計1026名。就労人数は、身体障がい10名、知的障がい5名、精神障がい4名の計19名である。町内では初となる就労継続支援A型施設「まごころ就労支援センターおおつち」が今年秋頃の開所予定でA型10名を含む計26名の定員となる。



まごころ就労支援センターおおつち

【問】当町における障がい者の就労状況とA型就労事業所の今後の方向性は。



芳賀 潤 議員

## サポート拠点運営事業の今後は

### 地域支援事業として協議を進める

おおつち型地域包括ケア事業について

【問】今年度は第6期介護保険事業計画の策定年度であり、東日本大震災津波復興計画基本計画に、おおつち型地域包括ケア体制の構築等の掲載があるが、その内容と今後の方向性は。

【答】（碓川町長） おおつち型地域包括ケアは、復興を進める新しい町の社会生活基盤を整備していくにあたり、介護・保健・福祉などの各分野の連携をより一層深めるとともに、医療関係者や民間事業者、地域の住民などさまざまな立場

の方々が、互いに顔が見え、信頼感を持てる関係を築くことにより、高齢者のみならず、障がい者や子供までもが地域で互いに支え合い、生きがいを持って、安心していきいきと暮らしていける体制を目指すものである。

既に5月から、町内5つの地区単位で個別・具体的な課題に対応するため、小地域ケア会議を開催しているほか、今年度策定する第6期介護保険事業計画にも位置づけ、構築に向けた取り組みを進めていく。

【答】（佐々木民生部長） 共同仮設住宅は4施設、サポート拠点施設は3施

設で、昨年度は延べ3万337名の方が利用している。

高齢者等の住まいの確保及びサポート体制の在り方など、利用者や地域のニーズに十分配慮しながら、関係事業者の方々との十分に協議するとともに、支援に取り組んでいきたい。

【問】次年度の環境について不安の声が聞かれているが、今後の学校運営委員会への設置は。

【答】（澤館教育部長） 学校運営委員会の設置について、本町の目指す

小中一貫教育は、学校だけでなく、保護者、地域と連携して進めるもので、いわて型コミュニケーション、学校評価と合わせ、学校運営委員会の設置を考えている。

【問】現在の児童生徒の学力と一貫教育における目標は。

【答】（澤館教育部長） 平成25年度に実施された県学習定着度状況調査の結果では、震災後は県平均と差が開いてきている。そのため、小中学校の先生方が力を合わせ、保護者・地域が支えながら進める教育づくりが望

【答】（佐々木民生部長） 平成28年4月に予定されている小中一貫校の開

まれることから、そうした課題に学校・保護者・地域が協力しながら取り組み成果を上げていきたい。

放課後の児童対策について

【問】当町においては、児童数の減少が町の存亡にかかわる重要課題と感じている。児童保育等、子供を見とくれる人がいないという理由から就労に結びついていないケースもあると思われるが、この課題について町の考えは。

【答】（佐々木民生部長） 平成28年4月に予定されている小中一貫校の開

校に合わせ、学童保育も移転整備する方向としており、現在、整備候補地の調整等を行っている。

吉里吉里地区では、小学校内で放課後子ども教室が実施されているが、学童保育が整備されていないため、現在の地域の保育園において低学年児童の受け入れを自主的に行っていたらいい。

共働き家庭等の児童に、安心・安全な居場所を確保するという観点から、保護者の意見や利用ニーズを十分把握するとともに、小学校の空き室の利用や指導員の確保等について、教育委員会をはじめ、地域の関係者の方々

と協議を進めていく。

# 防災計画に県立大槌病院の記載が見えないが

## 災害時は県立大槌病院が中心になる



阿部 俊作 議員

県立大槌病院と  
行政の連携について

【問】県立大槌病院の位置付けと行政との連携は如何に。

【答】（佐々木民生部長）  
釜石医師会や県立釜石病院を中心とした災害時医療体制の強化、広域的な防災面の連携強化を掲げている。

【問】災害時は県立大槌病院が中心になるのでは。

【答】（平野総務部長）  
県立大槌病院が中心になる。

【答】（内城総合政策部長）

全てのバスが大槌病院のバス停に停車するように設定し、乗降しやすいバスの導入に努めている。



県立大槌病院等建設予定地

町内商工業の振興策について

【問】商工業の振興策としての仮設店舗の払い下げは。また、商業用地の駐車場は。

【答】（大金産業振興部長）  
産業用地のレイアウトは協議中。事業者の再建

には、中小企業被災資産復旧費補助金など制度の案内をして対応する。

【答】（田中被災者支援室長）  
仮設施設の今後の活用は検討する。

地方銀行への  
町の預け入れについて

【問】地方銀行への預け入れは。復興交付金を町内金融機関に振り分けては。

【答】（三浦税務会計課長）  
4月末現在、729億9396万6789円。指定銀行の変更は難しい。

水道事業について

【問】水道普及の見通しは。

【答】（田中水道事業所長）  
現在の水道未普及は、戸沢地区22戸、安瀬の沢地区9戸、前段地区32戸。今後検討していく。

グラウンド整備について

【問】グラウンドの砂埃がひどい。砂を替えては。

【答】（青木都市整備課長）  
新町の当該グラウンドは本設野球場を整備するまでの暫定なので、使用者で水をまいてほしい。仮設校舎においても状況に応じて水をまいてほしい。

【問】防塵剤を活用しては。

【答】（澤館教育部長）  
検討する。



小中学校仮設グラウンド

町民バスの運行について

【問】町民バスの回送をなくして、利用しやすくするように改善をお願いしてきたが。

【答】（内城総合政策部長）

回送区間を実走区間にすると勤務時間がふえるため難しい。

【問】新しい路線を作るのではない。第1便を5分ふやすだけで良いのでは。

【答】（内城総合政策部長）  
利用実態や皆様の声を踏まえ路線の見直しや運行形態を構築する。

就学援助について

【問】4月から消費税増税となり、主に子育て世帯にとっては厳しい出費が予想される。当町の就学援助費は如何に。

【答】（松橋学務課長）  
就学援助費支給認定者は、要保護児童生徒4名、準要保護児童生徒39名、被災児童生徒428名である。準要保護児童生徒と要保護児童生徒の学用品の単価に差があったので、今年度から要保護児童生徒の単価で支給したい。



三浦 諭 議員

# まちづくり会社の定期的な説明を求める

## 説明会の機会を設ける

【仮称】大ケ口大橋の沢山側県道の形状について

【問】（仮称）大ケ口大橋開通の際には、通学路として利用されることが想定され、児童・生徒の安全な通学を第一と考えるが、教育長の所見は。

【答】（伊藤教育長）多くの児童生徒が通学路として利用することから、整備にあたっては十分配慮した整備を要望していく。

【答】（那須復興局長）三陸沿岸道路と（仮称）大ケ口大橋が県道に交わるため、国土交通省と町で、県及び警察等と交差

点協議を進めている状況であり、安全確保を第一に協議検討していく。



安全な通学路を望む沢山県道

CATV全町化事業について

【問】CATV全町化事業において、議会放送以外の活用計画は。

【答】（平野総務部長）放送コンテンツに対する町民ニーズを把握しながら、維持管理の在り方も含め今後調査検討していく。

復興まちづくり大植株式会社への取り組みについて

【問】復興まちづくり大植株式会社への取り組みについて、4月より営業開始しているが、稼働率はどの程度か。また、今後の経営方針は。

【答】（内城総合政策部長）稼働率については表のとおり。

	長期棟	一般棟
目標稼働率	80%	65%
4月	58%	41%
5月	75%	60%
6月	99%	70%
7月	96%	90%

今後の経営方針は、他

地区に宿泊していた建設会社や新規参入の建設会社に対し営業を行い、町内に人を呼び込むよう取り組んでいく。

【問】復興まちづくり大植株式会社の経営方針が不透明な部分があるので、定期的な説明を。

【答】（内城総合政策部長）説明する機会を設ける。

水源、大ケ口地区の避難所について

【問】水源、大ケ口地区は災害公営住宅、防集移転、自力再建が進み、人口が増加している。それに対して、避難所の増設は必

要と考えるが、今後の避難所整備の見通しは。

【答】（平野総務部長）平成24年3月と平成26年3月を比較すると、99世帯、198人の増加があり、今後も世帯・人口ともに増加するものと予想される。避難所の整備、避難路・避難場所も含め地域の安全・安心を考える必要があると強く認識している。

防災集団移転団地の応募結果について

【問】本年1月より募集していた三枚堂、桜木、大ケ口、柵内、沢山の各防

【答】（那須復興局長）応募結果については表のとおり。

	三枚堂	桜木町	大ケ口
区画数	1	1	7
応募数	5	0	5

  

	柵内	沢山	吉里吉里
区画数	5	1	2
応募数	15	11	3

応募がなかった3宅地については随時募集を行っている。

今後は、吉里吉里地区64宅地、浪板地区11宅地について説明会を開催し、7月11日まで募集を行い、8月3日に抽選会を実施する予定である。



第3回臨時会

平成26年第3回臨時会は、3月26日に開催されました。

◇報告◇

◎工事請負変更契約締結の専決処分の報告：白沢地区雨水排水路整備工事について、新設雨水路近辺の舗装工の増工、工事迂回路への増員、単価の見直しによる減額により、合計で203万700円を増額したものです。

◇議案◇

◎財産の取得：災害公営住宅建設用地として、小鍵第19地割地内6833.11平方メートルを5603万1502円で取得しようとするものです。  
(全員賛成・原案可決)



小鍵第19地割地内

◎指定管理者の指定：かみよ稲穂館、長井清流館、大槌町多目的集会所、小鍵地区多目的集会所、大槌町金沢地区生活改善センター、桜木町保健福祉会館、大槌町藤直地区集会所、上町ふれあいセンターの合計8施設について、平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年の指定期間に係る指定管理者について議決を求めるものです。  
(全員賛成・原案可決)

第4回臨時会

平成26年第4回臨時会は、4月30日に開催されました。

◇議案◇

◎工事請負契約の締結：大槌町浪板地区、吉里吉里地区、赤浜地区、安渡地区及び小枕・伸松地区他第2期工事について、東日本大震災により被災した地区他復興整備事業の実施にあたり、必要となる詳細設計及び工事施

工を総合的にマネジメントすること、本震災復興事業の効率的で確実な進捗を図るため工事を実施するものです。  
(全員賛成・原案可決)

◎(仮称)おおつち学園小中一貫教育校用地取得事業実施協定の一部を変更する協定の締結：測量調査、設計の結果、造成工事費及び用地取得費等の増額が見込まれるため、経費の限度額を12億7551万2千円増額したも  
(全員賛成・原案可決)

◎(仮称)おおつち学園小中一貫教育校用地取得事業実施協定の一部を変更する協定の締結：測量調査、設計の結果、造成工事費及び用地取得費等の増額が見込まれるため、経費の限度額を12億7551万2千円増額したも  
(全員賛成・原案可決)

◎平成26年度大槌町一般会計補正予算(第1号)を定めること：白沢橋外橋梁改修工事及び町方地区以外で実施する復興整備、CMR事業に伴う復興整備事業管理支援業務委託などにより補正し、歳入歳出予算に1億3656万円を追加し、予算の総額を503億9656万円とするものです。  
(全員賛成・原案可決)

行政視察報告

政務調査会(小松則明会長)は、6月26日から27日の2日間、大阪府箕面市、兵庫県神戸市を訪問し、小中一貫教育の取り組みや震災遺構などについて研修を行いました。

大阪府箕面市の「とどろみの森学園」では、大阪府内初となる小中一貫教育を行っています。一つの空間に一年生から九年生までが協力し合い過ごしていることに驚きを感じました。現代の子供の成長に合わせ、前期は一年生から四年生まで、中期は五年生から七年生まで、後期は八年生から九



大阪府箕面市での行政視察風景

年生までのブロックとなり、それぞれのリーダー学年を節目として9年間の成長の連続性の中で児童生徒を育てるという取り組みを行っています。校舎は前期生徒の教室は壁やドアがなくオープンになっており、隣のクラスとの行き来が自由となっています。小中一貫教育を取り入れるにあたり、小学校の教師と中学校の教師との話し合いが頻繁に行われたそうです。

兵庫県神戸市の震災跡地の保存は、交付金など国自体が関与しているとのこと。震災当時の再現画像は、当時の様子を鮮明に理解することができず。

また、震災により被災された方々の名前が刻んである慰霊モニュメントは心を打たれるものがありました。当町においても、今後の慰霊碑建設を検討する際の参考になると考えま

今回の研修は、後世のために生き残った我々が今何をするべきか、考えることができました。最後に、あの天津波で生き残った町民の方々が大槌の復興を早く見ることができるよう議会で努力いたします。



神戸港震災メモリアルパーク



阪神淡路大震災メモリアルモニュメント

岩手県沿岸知的  
障害児施設組合

東梅 守議員報告

去る3月19日に3月定例会を開催し、会期は1日、付議事件は4件いずれも承認された。

平成26年度岩手県沿岸知的障害児施設組合一般会計予算については、歳入歳出予算の総額を2億428万円とするもので、原案のとおり可決された。また、岩手県市町村総合事務組合規約を変更することの協議の専決処分に関し承認を求め、岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議の専決処分に関し承認を求めるとおり承認された。

岩手沿岸南部  
広域環境組合

阿部俊作議員報告

去る5月19日に5月臨時会を開催し、会期は1日、付議事件は3件いずれも承認された。

管理者からは、岩手沿岸南部クリーンセンターの状況として、平成25年度は、災害ごみを含め4万1835トンのごみを受け入れており、前年度と比べて約1%の増加となつていふこと、また、昨年度末で概ね完了した災害ごみ処理の一部残務処理にも引き続き協力していくとの報告があつた。また、平成26年度岩手沿岸南部広域環境組合会計補正予算(第1号)については、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1925万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ12億8658万1千円とするもので、原案のとおり可決された。

次代を担う子供たちと編集委員との交流



一緒にあそんでくれて、どうもありがとう～♪

震災後、子供たちのために広い園庭を願い、今年からやつと運動会が園庭で出来るようになりまし。6月のミニ運動会では、大好きなご家庭の方に見守られるなかで子供たちは笑顔いっぱい体を動かしていました。こんな時、大切なお子さんをとともに育てる機会をくださった保護者の方に感謝いたします。園では、心と体と頭のバランスのとれた子供を育てたいと日々の保育を大切に過ごしています。子育て支援クラブもありますので、お気軽に遊びに来てください。(おさなご幼稚園)



一緒にお弁当を食べたよ!

★次回の訪問予定★  
次号は、9月中旬に「安渡保育所」の予定です。



ちば かいと 千葉海翔くん(5歳)

★タイトル作成者★

表紙の「おおつち」を書いてくれたおさなご幼稚園の海翔くんです。上手に書いてくれてありがとうございます。

編集後記

▼4月から1年間、議会報編集委員の皆様とともに議会報の作成のお手伝いをさせていただきました。

派遣職員として大槌町に初めてやってきた4月、不安もありましたが、町民の皆さん、役場の皆さんの優しさに心が暖まったのを覚えていきます。

大槌町のひよっこりひよつたん島、新山からの絶景など、これから大槌町の魅力を感じる分味わいたと思つていきます。

議会報の作成経験はありませんが、読みやすく興味を持ってもらえる議会報にしたいと思つていきます。よろしくお願ひいたします。

- (議会事務局 金野美奈子)
- 議会報編集特別委員会
  - 委員長 金崎悟朗
  - 副委員長 三浦 諭
  - 委員 芳賀 潤
  - 委員 東梅 守
  - 委員 阿部俊作